



愛媛県西条市

西条市農業水産課

〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷164番地 西条市庁舎本館3階

Tel: 0897-52-1216 (直通) Fax: 0897-52-1230

<http://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/nogyosuisan/>



Reported by Kakashi.

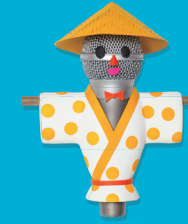


西条で農業をしよう!

∩ Saijo ∩
Fun to Farm
∟ Project ∟



愛媛県西条市



はじめまして、かかしです。

ぼくが田畑を守っている愛媛県西条市では、
農業の担い手が徐々に減少しています。
さまざまな施策にも取り組みましたが、
一時しのぎの表面的な支援だけでは、
この問題が解決しないことを知りました。

そこで西条市は覚悟を決めました。

行政・農業団体・先輩農家さんがしっかりと連携し、
西条市の農業を担う人たちの受け入れに本気で取り組みます。

『農家さん』も『農作業ヘルパーさん』も、
それぞれが農業を真剣に楽しめるための環境づくり

∩ Saijo ∩ Fun to Farm ∟ Project ∟

2018年、はじまります。

宣誓！！

しかも、
開きました！



われわれ 西条市は、
「Fun to Farm」をスローガンに、
行政・農業団体・先輩 農家さんが一丸となって、
この場所で農業をはじめ たい!と考えている方々を、
最大限のサポート体制で受 け入れることを誓います!
(ぜひ、安心して飛び 込んで来てください)

西条市について

・面積 ... 509.98km² 愛媛県3位

・人口 ... 110,767人 愛媛県4位

(平成30年1月末日現在)



うちゆ王 良質で豊富な地下水がパイプを打込みだす湧き出る。
名物①



西条まつり 江戸時代から続く秋まつり。150台の屋台(だんじり、みこ、太鼓台)が奉納される。
名物②



石鎚山 西日本の最高峰!! 山岳信仰の山で森林。(修験道)
名物③

松山空港

瀬戸内海

四国山地

西条市

石鎚山

1,982m

西日本-!!

西条市は、四国最大の
経営耕地面積を誇る!!
(4,313ha)

※瀬戸内海式気候。
温暖で降水量が少ない。





あゝ米 愛媛県No.1の
米品種。コシヒカリ、
アサヒ229、ヒノカリ、
にこまるなど栽培。



西条の七草
関西地域を
中心に100万
トンを出荷。
生産量は
日本一!!



里芋
平成18年に
デビューした
新ブランド
「伊予美人」の
栽培にかを
入れている。

西条市の 主な農作物

土壌が豊かなので、多種多様な
作物を育てることが出来ます!



麦
愛媛県は日本の
小麦の産地。
西条市は愛媛県の
最大の産地。



きゅうり 同産地では、
夏秋きゅうりの栽培
が盛んに行なわ
れている。



苺
あまふじ、
紅ほっぺなど
栽培。



キウイ
フルーツ
ハイコート、
セブソニート、
ガンソニート
などが栽培。



なす
絹かきなすは、
古くから品種
改良工場の
西条地区にて
栽培されている
と伝わる。
甘いなす。



柿 大天柿、愛宕柿、横野柿、
刀根柿、太鼓柿 日本一
の産地栽培。



WANTED



西条市では“新規就農者”と
繁忙期の“農作業ヘルパー”を
随時募集しています。

“新規就農者”

① 農業が大好きな人

② どんな状況でも
バタバタと焦らさない人

③ 黙々と作業を
することが出来る人

④ コミュニケーションを
大切にする人

⑤ ある程度、
蓄えがある人

⑥ 農業を探求したい人

就農するまでの手順

- ① 西条を視察し情報を集める (西条市農業水産課へお越しください)
- ② 農作業ヘルパーなどで体験してみる
- ③ 農地や住むところの候補地を探す
- ④ 農地面積などを元に事業計画を立てる
- ⑤ 必要な資金を集める
- ⑥ 移住する
- ⑦ 先輩農家の元で研修を受ける
- ⑧ 農業をはじめる (独立開業 or 雇用就農)

※ ゼロからのスタートの場合、概ね2~3年分の生活資金を準備しておくと安心です。

“農作業ヘルパー”

農作業ヘルパーとは繁忙期に農家さんのもとの
農作業や出荷作業などを手伝うスタッフのことです。

① 自然が大好きな人

② 土に触れるのが
好きな人

③ ある程度、時間に
余裕がある人

④ 黙々と作業するの
好きな人

⑤ 体かに自信がある人

⑥ 機械操作ができる人

働き方の手順

- ① 行政(西条市・愛媛県)やJAへ相談する
- ② JAでヘルパー希望者の条件などをとりまとめる
- ③ JAがヘルパー希望者を農家さんへ紹介する
- ④ 農家さんと作業内容・賃金などを取り決める
- ⑤ 契約する
- ⑥ 農作業ヘルパーをはじめる



Reported by Kakashi.

レポーターかかしは、

すでに西条市で農業に取り組んでいる

農家さんたちにインタビューしてきました。

みなさん、他の職業から農業の世界に飛び込んだ方々です。

農業に対する考え方や取り組み、

楽しいことや、苦労していることなど、

いろいろなこととお話ししてもらいました。

さらに、その農家さんをサポートする農協の方々、

行政の方々にもインタビューしてきました。

今後のサポート体制についてもまとめています。

脚色ナシのリアルなレポート、ぜひご一読ください！

インタビュー-9
前に

この分野の作物を栽培するからって
やり方を変えてくるとの
作付計画は重要!!



参考として

作物別経営モデル

～西条市の農家さんは、1年間でどれくらいの所得なんだろう?～

● Aさんの場合(水稲+露地野菜)

品目:水稲/里芋/タマネギ

| 品目 | 面積 (a) | 反収 (kg/10a) | 単価 (円/kg) | 生産量 (kg) | 所得率 (%) | 所得額 (円) |
|------|-----------|----------------|--------------|-------------|------------|------------|
| 水稲 | 500 | 600 | 170 | 30,000 | 35 | 1,785,000 |
| 里芋 | 50 | 3,000 | 150 | 15,000 | 53 | 1,203,750 |
| タマネギ | 100 | 5,000 | 55 | 50,000 | 48 | 1,320,000 |
| 計 | | | | | | 4,308,750 |

● Bさんの場合(水稲+露地野菜+施設野菜)

品目:水稲/ソラマメ/エダマメ/夏秋きゅうり

| 品目 | 面積 (a) | 反収 (kg/10a) | 単価 (円/kg) | 生産量 (kg) | 所得率 (%) | 所得額 (円) |
|--------|-----------|----------------|--------------|-------------|------------|------------|
| 水稲 | 270 | 600 | 170 | 16,200 | 35 | 963,900 |
| ソラマメ | 15 | 1,500 | 200 | 2,250 | 50 | 225,000 |
| エダマメ | 10 | 750 | 500 | 750 | 50 | 187,500 |
| 夏秋キュウリ | 20 | 10,000 | 200 | 20,000 | 60 | 2,400,000 |
| 計 | | | | | | 3,776,400 |

● Cさんの場合(果樹)

品目:柿/キウイ/ぶどう(ハウス)

| 品目 | 面積 (a) | 反収 (kg/10a) | 単価 (円/kg) | 生産量 (kg) | 所得率 (%) | 所得額 (円) |
|----------|-----------|----------------|--------------|-------------|------------|------------|
| 柿 | 70 | 1,900 | 190 | 13,300 | 60 | 1,516,200 |
| キウイ | 30 | 2,000 | 350 | 6,000 | 45 | 945,000 |
| ぶどう(ハウス) | 20 | 670 | 950 | 1,340 | 50 | 636,500 |
| 計 | | | | | | 3,097,700 |

反収:1反(約10a)あたりの収穫量

所得額:売り上げからすべての経費(固定費/変動費)を差し引いた額

西条市の農業基礎データ

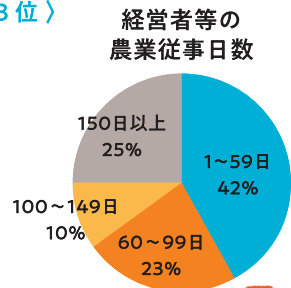
参考までに。西条市の農業にまつわるデータ。

- 経営耕地面積(田)(2015年) 4,313ha (愛媛県第1位)
- 農業経営体数(2015年) 2,696経営体 (愛媛県第3位)
 - ・組織経営体・法人経営体数 43経営体 (愛媛県第2位)
 - ・農業経営体数のうち稲の経営体(2015年) 2,137経営体 (愛媛県第1位)
 - ・農業経営体数のうち麦の経営体(2015年) 161経営体 (愛媛県第1位)
 - ・集落営農数(2016年) 24集落営農 (愛媛県第2位)

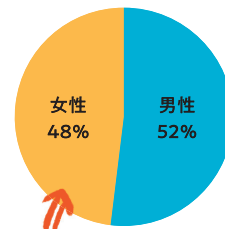
- 農業就業人口(2015年) 3,825人 (愛媛県第3位)
 - ・男性:2,006人 (愛媛県第4位)
 - ・女性:1,819人 (愛媛県第3位)

● 経営者等の農業従事状況

| | |
|-----------|------|
| 1日～59日 | 122人 |
| 60日～99日 | 68人 |
| 100日～149日 | 30人 |
| 150日以上 | 72人 |



農業従事者(性別)

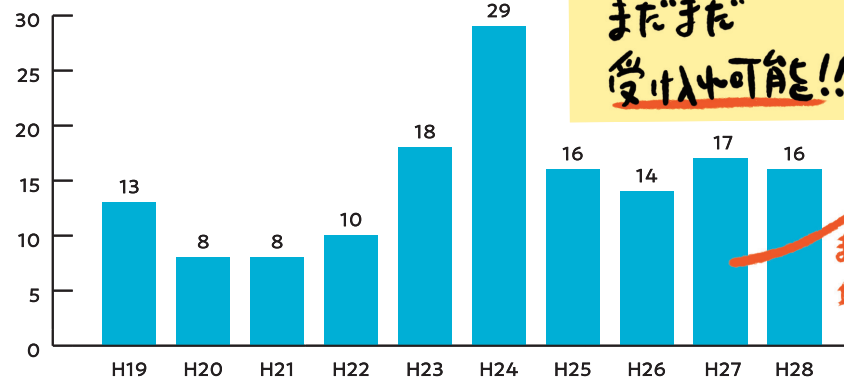


性別は関係ない!

ライフスタイルに
合わせて
働き方いろいろ!

● 西条市における新規就農者数の推移

(単位:人)



まだまだ
受け入れ可能!!

まだまだ
増え
た!!

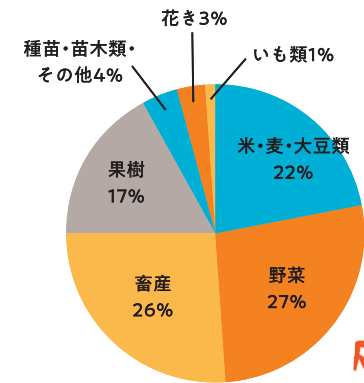
西条市の農業環境も
データで4277!!



- 主要農産物:米/はだか麦/里芋/きゅうり/ナス/ほうれん草/
アスパラガス/イチゴ/柿/キウイフルーツ

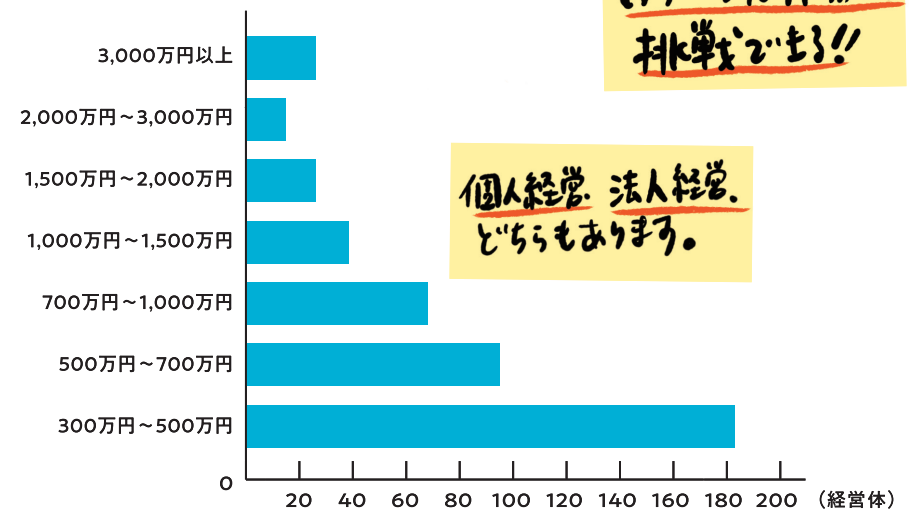
● 農業産出額合計(2015年) 140.2億円 (愛媛県第3位)

- ・米 類 ————— 300 千万円
- ・麦 類 ————— 4 千万円
- ・豆 類 ————— 5 千万円
- ・いも類 ————— 8 千万円
- ・野 菜 ————— 372 千万円
- ・果 実 ————— 242 千万円
- ・花 き ————— 43 千万円
- ・工芸農作物 ————— 1 千万円
- ・種苗・苗木類・その他 - 56 千万円
- ・畜 産 ————— 371 千万円



農業生産出荷額に占める
品目別の生産割合

● 農産物販売金額規模別経営体数(300万円以上)



いろいろ作物に
挑戦してる!!

個人経営・法人経営
どちらもあまる。



Q:いま就農何年目ですか？

3年目(2017年現在)ですね。元々は、東京で仕事していました。

Q:3年経って自分のやりたい農業の姿は見えてきましたか？

自分自身が理想とする農業を目指して日々奮闘している感じですが、この3年でちょっとずつ変わっている部分もあります。この先、4年目、5年目とどんどん変わっていくと思うんですけど、根幹の部分は全然変わらないです。とにかく、どの瞬間も新しい挑戦をしていけたらなと思っています。

Q:西条は農業をやりやすいですか？

個人的には農業はとてもやりやすいと思います。おすすめです。西条に来てぐるっと見渡してもらったら分かると思うんですけど、これだけ基盤整備がされていて、土地もあるし、チャンスもあるし、何をやるにも本当にやりやすいし、動きやすいと思います。こういうふうに農地がぎゅっと集まっているので、野菜でも米でも自分の好きな品目を、好きなように育てることができるような場所だと思います。

Q:何か困っていることや、もっとこんなものがあつたらいいな、ということはありませんか？
あります。僕はもっと規模を大きくしていきたい。目標はもっともっと先にあるのですが、足りないことが多すぎて。目の前のことと言えば、まずは機械化を進めていきたいです。もちろん、機械がなくても、まだまだやれることはあると思うんで、身につけるべき技術や視野をもっと広げていきたいなと思っています。

Q:地域の農家仲間との関係はどんな雰囲気ですか？

この間も仲間と一緒にごはん食べたり飲んだりして話してたんですけど、やっぱり仲間って大事です。仲間がいることによって新しい情報が入ってきたり、新しい技術が見つけれたりもします。いくらネットが発達しているといっても、なかなかそういう技術は検索しても引っかけられません。そういうときに仲間同士での知見の交換はとても助かります。相談ももちろんできますし。まだまだ3年目の新人だけど、相談してくれることもあるのですが、教えるためには学ばないといけないので、お互いが向上するためのいい関係ができていると思っています。こういう輪がさらに広がっていったら、もっと大きなうねりが生まれるんだろうと思います。

Q:年上の先輩農家さんとの関わりはありますか？

ありますよ。僕、絹かわなすを育ててるんですけど、そのなすを育てるのは大先輩方がほとんどなんです。いきなり話しかけるのは難しくても、なすを共通の話題にすればコミュニケーションをとれたりします。昔はどうだったのか分からないですけど、今の先輩たちは本当に親切に教えてくれます。先輩たちには培ってきた歴史や、積み重ねた経験値があるんで、いろんな話をきちんと聞いて、役立てていけばいい農作物が作れると思っています。大先輩との関わりも大事ですね。

Q:西条市に農業に携わりたい方が移住してきたら先輩農家としてどう思いますか？

もちろん、この場所を就農の場所として選んでもらえたらうれしいですし、ありがたいですし、一緒にやっていきたいというのが素直な気持ちです。僕は手放しで歓迎します。とにかく飛び込んでみてください。こういう農業をやりたい、というビジョンを持っているなら、僕らもその達成に向けて手助けできることがあるかもしれないし、充実した話もできるし、きっと面白いことに挑戦できると思っています。

Q:最後に「農業に挑戦したい!」という方に一言お願いします。

ここは、いい土地だし、いい野菜つくって、いいお米つくって、いい思いして、楽しくやりましょう!どうぞ、みなさん、西条に来てください!



Q: 就農したのはいつ頃ですか？なぜ就農しようと思ったのですか？

就農したのは1年前(2017年現在)なんです。かなり最近です。以前はサラリーマンをしていました。決まったサラリーじゃなくて、この作物をこのくらい作ったらこれだけ売上が上がる、みたいに、自分の頑張りに次第で収入を得られるところに魅力を感じています。

Q: 就農してみてこんな所が変わればいいな、ということはあるですか？

今後農業をやっていると考えている人たちに、もうちょっと地域全体で育てていくような環境とか、スタートしやすい環境をつくってあげたらいいのかなって思いますね。どうしても最初は機械や設備等々にお金がかかるし。経営のことも教えてあげたほうがいいのかなって思いますね、やっぱり収入面が一番大切だから。

Q: 忙しい時期はいつですか？

真冬以外はずっと忙しいです。お米の植え付けから収穫まではすごく長いですし、お米の植え付け前には、タマネギの収穫もあります。今は、冬に里芋やってみたらどうかと先輩農家さんからすすまられています。

Q: 労働力は？

ほとんどの作業を一人でやっていて、あとは子供が休みのときに手伝ってくれるような感じです。いまはまだ外部の労働力を定常的には使えない状態ですが、そうは言っても、繁忙期にはどうしても人手が必要になるので、知人の方やヘルパーの方々に入ってもらっています。まさに明日も、収穫の作業で、2名の方に手伝いをしてもらおう予定なんです。僕と年齢が近い、60歳ちょいすぎた人です。第一線から退いて、ちょっと時間に余裕があるようで、ほんならちょっと手伝おうかな、みたいな感じで助けてくれます。

Q: ヘルパーさんについてどんな印象ですか？

このあと農地を広げて量産しだした時には、どうしてもそういった人たちに助けてもらわないといけないと思うんです。僕の先輩たちも、どっかに手伝ってくれる人はいないだろうかっていつも探しているみたいなので。いまの時代、いかに労働力を確保するかというのはとても大きな問題です。僕もこれからヘルパーの方々に参加していただく場面が増えると思いますので、ぜひいろんな方に参加していただきたいです。

Q: 地域の中のつながりって大事ですか？

僕、年はいってるけど農業はまだまだ経験が浅い。年下の子の方が経験も長いし、ものすごくいろんなことを知っているんで、こういうふうにしたらいよってアドバイスもらったりしてます。すごく助かってます。地域とのつながりは本当に大事だと思ってます。ぼくもいつかは後輩に、こうしたらいいよって教えていきたいと思います。命令口調ではなくね。

Q: 西条市にはどんな人来てもらいたいのですか？

そうですね、まあ、年齢なんて気にしなくてもいいけど、どうせやるんだったら、若い人の方が可能性は広がりますよね。若いっていても20代でなくてもいいんだけど、ひと通り社会経験積んで、30歳くらいからやってみようかなみたいな人はいいと思います。それくらいの年齢からやっておかないと、時間が限られちゃうと、面白くもうけさせてあげることができない。まわりの人間も、そういう、若い子や中堅どころの子のほうが、教えがいもあると思います。もちろん、やる気があれば年齢なんて関係ないですけどね。

Q: 新しく農業をはじめようとする人に向けて一言お願いします。

新しい担い手として、農業やりたいと来てくれる人は、すごく大事にして教えていきます。来てもらったら僕らの友達も集めて、農業で食べられるような教え方もしていくし、これを仕事として捉えていけるようにやっていきたいと思っています。ぜひやる気のある方は来てください。お願いします！



Q: 就農されて何年目ですか？ 就農しようと思った理由はなんですか？

就農して今年(2017年現在)が、6年目、かな。5年終わって、6年目ですね。一度、県外へ出て、普通に就職して、普通に仕事して、そのあと地元に戻ってきた感じです。家が元々農家だったという影響が大きくあります。あとは、地元が好きだったというのも理由のひとつです。ここはすごい田舎ですし、農業は多分これから先、高齢化が進んで、担い手が減ってきて、若い力が大事になってくるんじゃないかなって思っていたのもあったし、もともと機械だったり栽培以外の分野も興味があったので、農業をやってみようと思いました。

Q: 一度県外へでて帰ってきてみてどうですか？

もともと割り切って、県外は県外、こっちは田舎ってイメージを持っていたので、特に感じるものがあつたわけじゃないですね。

Q: いま作っている作物や、面積を教えてください。

今は、はだか麦と里芋と赤シソを栽培しています。面積は合計で、約7.5ヘクタールぐらいですかね。まずは家族経営で出来る範囲をとにかくしっかりしていこう、という感じですね。

Q: 実際に農業経営をしてみてどうですか？

面白いこともあるんですけど、現実的な部分では大変なところもいっぱいあるのかなと思います。ただそれを超えられたときは、すごくやりがいを感じるし、また次のステップにつなげていけるかなと思います。とにかく、やりがいはあると思いますね。

Q: ところで、西条市ってどんなところですか？

見ての通りの田舎です。もう、すごい田舎です。田舎なんで人が少ないんですよね。人が少ないから、みんな気心が知れているのかなと思います。年齢も関係ない感じです。いま住んでいる禎瑞地区には子供もそれなりにはいるので、まだ未来はあるのかな、と思います。新しい人も入ってきてくれています。みなさん地域に溶けこんでうまくやっている印象です。

Q: 一番忙しい時期っていつですか？

一番忙しいのは、春から秋にかけてぐらいですね。夏頃は日が長いので朝早くから夜遅くまで作業ができるので、その時期はバタバタとしています。

Q: この地域は若い人が増えてきている印象なのですが、ネットワークはありますか？

繋がりはすごいありますね。すごく楽しいです。同世代が多い。その中でも、ぼくが上の世代になってきているので、自分より更に若い子たちがいろんなことにチャレンジしていたり、すごくがむしゃらにやっている姿を見ると、後押しされる感じですし、いろんな場面で刺激をくれる存在だと思います。

Q: 農業にチャレンジしたい人たちにメッセージはありますか？

まずは、いま実際に農業に携わっている先輩たちの姿勢だったり、作業の様子だったり、普段の生活だつたりにグイグイ関わって、意見をしっかり聞いて、しっかり関係を結んでいくのは大切ですね。さらにその先輩、当然経験者だつたりベテランの方たちとの人脈をしっかりつくるのは大事なのかなと思います。当然、栽培する技術の習得とか圃場の準備とか、自分自身の判断でやることは大事なことなので、責任持って黙々とやっていくのがいいと思うんですけど、一人での作業だつたりが続いたりすると、ちょっと孤独を感じることもある仕事なので、そういう面でもあらかじめ人脈をつくっておくと、さまざまな場面で頼ることもできるし安心だと思います。また、将来的には頼られることもあるでしょうし、楽しいことって人とのつながりから出てくるんじゃないかなって思いますね。

Q: 最後にこれから農業をしようという方にメッセージをお願いします。

みんな待ってますので、ぜひ一緒にやってみませんか。やりましょう！

西条市青年農業者
協議会の方へ

みゆたん, みまわ



新たに農業を始める方も、思い、いるみなさんを
歓迎します!一緒に西条の農業を盛り上げましょう!!

農協の方インタビュー



農業をはじめるとあって、
すべてのことに協力します！

日野陽一
（左）

黒川直樹
（中）

佐伯行彦
（右）

Q: 西条の農業の特徴はなんですか？

山間部では果樹がメインで、平野部では水稲と野菜をメインに栽培しています。災害が少なく、天候もよく、非常に野菜や果樹が作りやすい地域です。作物を育てるのに一番大切な水が本当に豊富で、野菜、お米、すべてのものがしっかりと作れる環境です。

Q: 農協としてこれから農業に就労しようとする人にどんなサポートができますか？

技術面でのアドバイスや、こういった作物をつくれればどのように収入が上がるかなど、農業経営に関しての知見についても、力をお貸しします！今年度から研修農場をつくり、新規就農者の方に技術の習得のための座学であったり、現場での関係づくりであったり、さまざまな取り組みを行っていきます。農業をするにあたってどんなことでも構いません。知りたいこと、サポートしてもらいたいこと、全てのことに協力します！

Q: 最後に、これから農業を頑張ろうという方にメッセージを一言ずつお願いします。

日野: 西条市は、住みやすく、とてもいいところです。ともに汗を流しましょう。

黒川: 農業は厳しい面、楽しい面、両面をもった仕事です。やる気を持って望めばそれだけの結果が返ってくると思います。

佐伯: 農業は本当に可能性を秘めた仕事だと思っています。私たちJAでしっかりサポートします。チャレンジ精神を持って飛び込んできてもらいたいと思います。

西条市役所 農業水産課インタビュー



日野智之
（左）

戸田章裕
（中）

塩出一峻
（右）

Q: 西条の農業の魅力はなんですか？

西条の農業の魅力は四国最大の面積を誇る水田です。また山間部には果樹地帯も広がっています。水資源もとても豊かです。あと、熱い思いをもった農業者の方、地域の農業をなんとかしたいと思っている方々がたくさんいらっしゃるのも魅力です。

Q: 西条の農業の可能性はどういったところですか？

日本全国で農家さんの高齢化であったり、労働力不足が問題になっていますが、西条には若い世代の農業者の方々がとても増えています。そういった人たちと先輩農家さんたちがしっかりと連携して、この地域の農業がどんどんどんどん盛り上がっています。それこそが、西条の農業の可能性です。

Q: 農業をしたいと考えている方々に行政としてどんなサポートができますか？

国や県、市の補助事業がたくさんありますので、そういった政策をもって農業をはじめたいという方の不安を少しでも解消できればな、と思います。また、先輩農家さんとの関係づくり面でもサポートしていきます。

Q: 最後にこれからくる就農者に対して一言お願いします。

米、麦、野菜、たくさんの果物などいろんな栽培にチャレンジできます。西条で農業することを絶対後悔させません。一緒に農業を盛り上げていきましょう。宜しくお願いします！

新規就農人材の育成のしくみ 西条

西条市では、次世代の強い農業者の創出と、地域の基幹産業を持続可能なものとするために、新規就農人材の発掘と、地域が一体となった育成システムにより、安心して農業をスタートできる環境を構築します。

手紙が相談!

体験・研修!

STEP① 新規就農人材の発掘

1. 就農に向けたきっかけづくり

- 市内高校生を対象とした AGRIビジネススクール (年2回)

2. 市外での新規就農人材の発掘

- 就農相談ワークショップ
- 人材マッチング: 合同面接会

- 新農業人7219計画 (3か)



充実のサポート内容を用意していきましょう!

STEP② 農業体験・研修

1. 実際の農業現場を知る

- インターンシップ型 農業体験

- 短期農業研修 ----->

- 次世代人材投資事業 (準備型) に係る研修機関等による 農業研修
- <活用状況>
- 国: 次世代人材投資事業
- 県: 次世代人材投資事業
- 市: 農業研修受入促進事業 (新)

就農!

STEP③ 新規就農 (雇用就農・独立就農)

1. 独自就農支援

- 新規就農に係る 運転資金
- 「次世代人材投資事業」等
- 農地取得支援
- 農地中間管理機構事業の活用
- 農地バンクの活用

- 技術取得支援・生活支援
- 農業研修受入促進事業
- 住宅の確保 (空き家バンク・空き家改修支援事業)
- 機械導入支援 (就農後)

2. 安心して研修を行える環境の整備

- 農業研修受入促進事業 (新)

先輩農家と師弟関係を築いて農業研修を実践!

2. 雇用就農支援 (JA・農業法人等への就職)

- 「雇い事業」等の活用
- 雇用就農に係る奨励金

お問い合わせ

行政

〈西条市役所〉

本庁 農業水産課

〒793-8601 西条市明屋敷164番地

0897-52-1216 (直通)

nogyosuisan@saijo-city.jp

東予総合支所 農林水産課

〒799-1394 西条市周布349-1

0898-64-2700 tonorinsuisan@saijo-city.jp

丹原総合支所 農林水産課

〒791-0592 西条市丹原町池田1733-1

0898-68-7300 tanorinsuisan@saijo-city.jp

小松総合支所 農林水産課

〒799-1198 西条市小松町新屋敷甲496

0898-72-2111 konorinsuisan@saijo-city.jp

〈愛媛県〉

東予地方局 産業振興課

〒791-0508 西条市丹原町池田1611

0898-68-7322

JA

〈西条市農業協同組合〉あぐりセンター

〒793-0052 西条市中西新開111-1

0897-56-9000 <http://www.ja-saijyo.or.jp/>



〈周桑農業協同組合〉営業管理研修センター

〒791-0502 西条市丹原町願連寺527-1

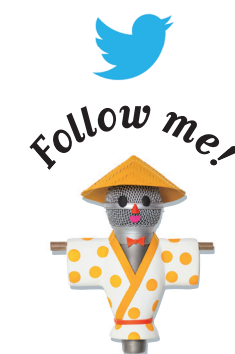
0898-68-7812 <http://ja-syuso.or.jp/>



〈東予園芸農業協同組合〉

〒791-0594 西条市丹原町今井431

0898-68-4545 <http://www.toyoengei.jp/>



Twitterはじめました。

カカシ君

@kakashikun1982

西条市の農業・農家さんの魅力を
カカシ目線で伝えます！